

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:140006

在宅看護方法論Ⅰ Home Care NursingⅠ

担当教員	山路朋子、桜井志保美、牛村春奈										
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。										
開講年次	2年次後期			単位数	1			授業形態	講義・演習		
必修・選択	必修			時間数	15						
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	○	(3)		(4)	◎	(5)		(6)
Keywords	在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅での基本的生活援助技術										
学習目的・目標	【目的】 在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。 【目標】 1.在宅ケアに関連する基本的概念や法制度を理解する。 2.在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術を修得する。										
授業計画・内容											
回	内容										
1	地域・在宅看護における看護過程の基本										
2-4	【在宅看護を支える看護実践(演習)】 ・食と排泄 ・活動と休息 ・清潔と衣生活										
5	グループワーク(演習)										
6	【地域・在宅看護における安全をまもる看護】 環境整備、平時における緊急時や災害時の対策										
7-8	グループ課題発表(演習)										
教科書	河原加代子他:系統看護学講座 地域・在宅看護の実践、医学書院										
参考図書等											
評価指標	1. 課題およびレポート40% 2. 定期試験60%										
関連科目	在宅看護学概論・家族看護論・在宅看護方法論演習・在宅看護学実習										
教員から学生へのメッセージ	在宅看護方法論は、在宅看護関連科目、既習した看護の基本や看護援助の方法を踏まえて、対象の価値観・生活習慣・生活環境に合わせて応用してゆく看護方法を学びます。 課題等を通し主体的に学びながら、在宅特有の看護方法の修得に努めましょう。										